

学校関係者評価報告書

この学校関係者評価報告書は、麻生建築&デザイン専門学校の学校関係者評価委員会の結果を記したものである。

学校関係者評価報告書

麻生建築&デザイン専門学校

平成30年6月29日

校 長 竹 口 伸 一 郎

自己点検・評価責任者

校長代行 熊 野 学

目 次

I. 学校関係者評価の概要と実施状況	- 2 -
1. 学校関係者評価の目的	- 2 -
2. 学校関係者評価の基本方針	- 2 -
3. 学校関係者評価委員会 出席者	- 2 -
4. 学校関係者評価委員会実施日時	- 2 -
5. 学校関係者評価方法	- 2 -
II. 学校関係者評価内容	- 3 -
基準 1 理念・目的	- 3 -
基準 2 教育の内容	- 4 -
基準 3 教育の実施体制	- 6 -
基準 4 教育目標の達成度	- 7 -
基準 5 学生支援	- 8 -
基準 6 学生募集・受け入れ	- 10 -
基準 7 社会的活動	- 11 -
基準 8 管理運営・財務（学校・グループ）	- 12 -
基準 10 改革・改善・情報提供	- 13 -
基準 9 は評価対象外	

平成29年度
(2017年度)

I. 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的

- ①卒業生、関係業界、職能団体・専門分野の関係団体、高等学校、保護者・地域住民などの学校関係者が、麻生建築&デザイン専門学校の自己点検・評価結果を評価することで、自己評価結果の客観性・透明性を高める。
- ②学校関係者から、学校運営・教育活動の現状における課題について助言を得ることで、学校運営の継続的な改善を図る。

2. 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価は、自己点検・評価報告書を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。

3. 学校関係者評価委員会 出席者

区分	氏名	所属
業界関係者	板橋 正志	株式会社 ダイキエンジニアリング 人事部課長
業界関係者	及川 雅史	株式会社 テクノプロ・コンストラクション 技術課長
業界関係者	高木 秀樹	株式会社 住まいえ 代表取締役
業界関係者	高崎 強	株式会社 久米設計 九州支社 副支社長
業界関係者	戸田 康仁郎	株式会社 大設計 統括本部長
業界関係者	三並 恒功	株式会社 PBM 代表取締役
業界関係者	横山 猛	株式会社 九州三田技術コンサルタンツ センター長
有識者	井上 勝義	クリエイティブ・ルーム ERNEST 代表
有識者	植田 義孝	ユーデザイン設計 代表
有識者	太田 昌宏	愛知産業大学 準教授
高校	太田 博文	福岡県立 福岡工業高等学校 校長
地域住民	川藤 勝治	博多区博多駅南第4区自治会 自治会長
卒業生	久永 和佳	H29年度 建築工学科 卒業生

保護者	上野 和則	建築工学科 在校生保護者
-----	-------	--------------

※区分別、五十音順、敬称略

4. 学校関係者評価委員会実施日時

実施日時：平成30年6月29日（金）14：00 ～ 15：00

場所：麻生塾福岡キャンパス 10号館 4階 1041教室

5. 学校関係者評価方法

平成29年度の自己点検・評価報告書に基づき、基準項目の自己評価結果および課題・解決方向について、下記のポイントに留意しながら評価を行った。

- (1) 自己評価結果の内容が適切かどうか
- (2) 今後の解決方向が適切かどうか
- (3) 学校の運営改善に向けた取り組みが適切かどうか
- (4) その他、学校の運営に関する助言

※参考 自己点検・評価における達成度の評定

S:達成度がきわめて高い

A:ほぼ達成している

B:達成がやや不十分であり、若干改善を要する(要観察:放置すると不適合になる)

C:達成は不十分で改善を要する(不適合)

Ⅱ. 学校関係者評価内容

基準 1 理念・目的

基準1 総括

建学の精神や教育理念、教育目的・目標については、学校 Web サイトやパンフレット等を通じ公表している。教職員には麻生塾ルールブックにて共有を図り、学生には学生便覧(学生のための学校ガイドブック)にて理解を促している。また、グローバルシティズン教育を通じ理解を深め、麻生塾の学生としてふさわしい価値ある人材として成長できるよう働きかけている

見つかった課題

特になし。

改善策又は改善の方向性

法人としての理念の情報発信ばかりでなく、学校としての理念やグローバルシティズン教育も同じく情報の発信量や機会の再確認を行い周知の拡充を意識したい。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

教育の不易の部分であり、掲示するなど工夫がなされている。

ルールブック、学生便覧、業務計画に教育理念・目標・計画が明記されており適正である。

中項目 1-1

建学の精神・法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育成人材像を明文化し、学校構成員で共有し、社会に公表しているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：A

■中項目総括

建学の精神、理念、教育目的、育成人材像について明文化し、公表している。

小項目 1-1-1

法人創設時に生まれた「建学の精神」、および根本的な考え方である「法人の理念」を明文化し、学校構成員(すべての教員、職員、学生)に周知する機会を設け、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

建学の精神、法人の理念について明文化し、公表し、学校構成員にオリエンテーションや研修にて共有している。

小項目 1-1-2

「学校の教育理念」は明文化し、教育と指導を通して学生に十分に理解され、本学校の卒業生としてふさわしい資質として周知させているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

学生便覧(学生のための学校ガイドブック)への記載、新入生オリエンテーションでの指導、グローバルシティズン教育、Web サイトへの掲載など指導・周知を図っている。

小項目 1-1-3

「学校の教育理念」には、職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容などを盛り込んでおり、定期的に見直しを図っているか。「学校の教育理念」は社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

パンフレット・Web サイト・学則などにおいて本校の教育理念を示している。また、職業実践課程の委員会においてもその見直しや必要性の確認を行っている。

小項目 1-1-4

各学科の教育目的や育成人材像は、「法人の理念」および「学校の教育理念」から導き出されたものになっているか。またそれらを文書化し社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

「法人の理念」「教育理念」をもとに学則を作成し、各科の教育目的が明文化されている。各科の教育方針は系会議、教務会議で見直し確認したものを学校構成員に共有し整合性を確認している。パンフレット・Web サイト・学則などにおいて公表している。

小項目 1-1-5

教育課程(カリキュラム表など)を文書化し、学生に提示し、学生は内容を理解しているか。またそれらを社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

教育計画・教育目標について、年初に関係する学校構成員で学生便覧(学生のための学校ガイドブック)等を用い共有し確認している。

基準 2 教育の内容

基準 2 総括

カリキュラムは業界関係者や業界団体等外部の方々の方々の意見を取り入れ検討・改善をしている。また、学生の就職先企業やインターンシップ先、現場見学関係企業などからのコメント等を情報として検討に含めている。それらの情報をもとに関係者間で協議し、理念や方針との整合性を図りながら見直しや改善等に努めている。作成されたカリキュラムをもとにシラバス・コマシラバスの作成を行い周知・共有を図っている。

見つかった課題

特になし

改善策又は改善の方向性

科目担当者の共有や関連教科との連携教科を図り、シラバス・コマシラバスの改善・改良を常に意識したい。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

教育のクオリティー向上のための様々な取り組み(先端技術を修得するため、最新の BIM や CATIA の演習を可能とする設備の設置、教員における企業と連携した研修の受講、全館に Wi-Fi を設置し、個人持ちノートパソコンの導入。)また実践教育向上の取り組みとして職場実習も効果がある。

GCB 教育を通して、しっかりと自分の意見を述べる事ができる学生が育っていると感じる。

教育目標などを明確に掲げておりカリキュラムに専門教育だけでなく、人間教育に関わる GCB 教育も組み込まれており適正である。

中項目 2-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みをしているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：A

■中項目総括

カリキュラム・シラバス・コマシラバスを作成し明文化のうえ共有を図っている。カリキュラム会議の開催や職業実践課程の教育課程編成委員会で検討を図っている。

小項目 2-1-1

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)として、卒業認定のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するか等の基本的な方針を定めているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

教育課程編成・実施の方針など専門的な知識・技術を持った人材を育成するための指針を学生便覧(学生のための学校ガイドブック)に記載し周知している。

小項目 2-1-2

学科の育成人材像およびカリキュラムは、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けて作成し、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

学生便覧(学生のための学校ガイドブック)・Web サイト等に育成人材像やカリキュラムを掲載し周知を図っている。また職業実践課程の委員会から人材ニーズを把握し、学科の方向付けをしている。

小項目 2-1-3

育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムおよびシラバスを作成しているか。シラバスは事前に学生に配布しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

カリキュラムは修業年限分を文書化している。担当教員によりカリキュラム作成のための会議を設けシラバス・コマシラバスを作成している。シラバスは初回授業開始時に学生に配布している。

小項目 2-1-4

カリキュラムの作成に際し、複数の内部職員および業界関係者などの外部関係者を入れて、カリキュラム改善のために意見を取り入れているか

■自己点検・評価結果：S

■コメント

職業実践課程の教育課程編成委員会にて業界ニーズ・社会ニーズなど意見を取り入れ、カリキュラム会議等において理念等との整合性を検討し反映している。

小項目 2-1-5

教科ごとのシラバスおよびコマシラバスを取りまとめて、教科間の整合性を図り、定期的に検証・見直しているか

■自己点検・評価結果：A

■コメント

科目担当者を中心に関係する教員にて共有を図っている。また、授業実施報告を基に定期的に見直し・検証を図っている。

中項目 2-2

教育方法は適切に行なっているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：A

■中項目総括

カリキュラム・シラバス・コマシラバスを作成し明文化のうえ共有を図っている。カリキュラム会議の開催や職業実践課程の教育課程編成委員会で検討を図っている。

小項目 2-2-6

授業方法は適切に行なっているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

カリキュラム会議や学生への授業アンケートにより、授業方法を選択し授業を行っている。

小項目 2-2-7

コマシラバスを作成し、授業の中で概略と到達点を学生に周知しているか。シラバス・コマシラバスに基づいて授業を展開しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

初回授業時にコマシラバスを配布し学生に周知している。基本的にはシラバス・コマシラバスに沿って授業を進めていく。

小項目 2-2-8

学習の評価は適切に行なっているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

シラバスの評価方法を記載しており、学生に周知している。シラバスの評価方法に沿って評価している。

中項目 2-3

教授学習プロセスの改善および教員の資質の維持や向上への取り組みをしているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：A

■中項目総括

職業の現場に触れる機会を設け、より多くの機会創出に努めている。現場見学・職業体験・インターンシップを実施し、学生自身によるキャリア発達を促している。

小項目 2-3-9

学生による授業評価を定期的に行なっているか。評価結果をもとに授業観察や研修等の改善活動を計画的に行ない、それらを文書で確認できるか

■自己点検・評価結果：A

■コメント

ミニアンケートにより適宜状況の把握を定期的に行い、課題点があれば発見し改善を図っている。また、授業アンケートの結果に基づき必要に応じて改善策を検討し改善を図っている。

小項目 2-3-10

学生による授業評価以外で、授業改善のための取り組みを組織的、計画的に行なっているか。(授業改善委員会、FD等、名称問わず)

■自己点検・評価結果：A

■コメント

アンケートと連動した教育力向上プロジェクトでの組織的な体制を設けているほか、検定ゼミ・科目のそれぞれの担当者間で改善に取り組んでいる。

小項目 2-3-11

教員の専門性や指導力等の維持、向上のために、計画的に内部・外部の研修や自己啓発の支援を行ない、検証・評価を行なっているか

■自己点検・評価結果：A

■コメント

教育推進グループによる組織的な研修により指導力や能力の向上を図っている。また、計画的に専門分野の研修や指導力向上のための研修に参加を図っている。

中項目 2-4

業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みをしているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：A

■中項目総括

職業の現場に触れる機会を設け、より多くの機会創出に努めている。現場見学・職業体験・インターンシップを実施し、学生自身によるキャリア発達を促している。

小項目 2-4-12

企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

建築・建設現場での見学会をはじめ業界特有のインターンシップを実施し業界理解・職業理解を促進している。

小項目 2-4-13

キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

シラバスに沿ってグローバルシティズン教育を通じたキャリア教育を行っている。また、続く就職実務においてもキャリア形成をより具体的にするための指導を行い、社会的・職業的に自立に向けた教育を行っている。

小項目 2-4-14

リメディアル(導入前教育、補習)教育を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

基礎学力を測定し学力の把握に努め、必要な者に専門性の基礎となる数学ゼミを実施し支援を行っている。

基準 3 教育の実施体制

基準 3 総括

学生数増加に対応し教員を雇用し対応を図っている。新任の教員には指導役となる担当教員が付き OJT にて臨んでいる。また、教員の役割を明確にし、教育体制を整えている。 専門分野の特性として安全管理・安全管理意識は職業観とともに指導を行っている。

見つかった課題

設置基準に対しての教室数。

トレンドや流行、技術仕様など変化の早いデザイン業界の動向に対応した教員のスキル。

改善策又は改善の方向性

トレンドや流行、技術仕様など変化の早いデザイン業界の動向に対応した教員のスキルを常に更新していく。また、建築の分野においても多様な学生に対応できる教育力の向上を意識していく。

教室改装等を行い、設置基準に適したものとする。

■学校関係者評価結果： 適 正

学校関係者評価 評価者のご意見

学科編成・教育課程に相応しい教室、実習設備があり、教員組織もなされている。

非常勤講師会が開催され非常勤講師との情報交換の機会がある。また、非常勤講師室があり日常的にコミュニケーションがなされている。

年間ターム表、カリキュラム、シラバスがあり計画的に教育を実施する体制がある。

グループとしての取り組みで教育環境は大変良く整備されている。また、設備計画に基づいて教育環境の整備もされており適正である。

中項目 3-1

専修学校設置基準その他法令を遵守しているか。

■学校関係者評価結果： 適 合

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括

学生数の増加に伴って、教室において設置基準に対して適合が難しくなっている。

小項目 3-1-1

教員は法令が定めた教員要件を満たし、必要な人員を適切に配置しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

法令が定めた教員要件を満たし、必要な人員を適切に配置している。

小項目 3-1-2

校地・校舎・講義室・実習室等の面積は、設置基準その他法令の基準を満たしているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

講義・実習のための面積を確保し法令に準拠している。 学生数の増加に伴って、教室が設置基準に対して適合が難しくなっており、校地・校舎・教室の調整を行っていく。

中項目 3-2

教育の実施体制を整備しているか。

■学校関係者評価結果： 適 合

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括

多様な学生へも対応が図れるようなサポート体制と環境を整備していく。

小項目 3-2-3

学科編成・教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

各分野・各科目に教員が配置され、各教員の役割分担を行っている。

小項目 3-2-4

非常勤講師と適切な協業および情報交換を図っているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

授業報告書により授業の進捗状況を把握・確認を行い、非常勤講師会・教務会議・系会議で情報共有を図っている。

中項目 3-3

教育環境を整備・活用しているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： S

■中項目総括

就職活動の支援体制、図書館等の学習環境、学外の安全管理など適宜行っている。

小項目 3-3-5

実習で使用する学校設備機器、机・イス等の教育備品・教具等を整備し、管理体制を備えているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

設備備品は、各校の需要や修繕要望に基づき整備を実施している。机や椅子についても管理簿により適切に管理されている。

小項目 3-3-6

学内外実習時の安全対策を立案・文書化し、十分な対策を取っているか。対象となる学生にはそれらを十分理解させたいうえで実習に参加させているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

建設現場・印刷工場等見学の際は事前説明会を実施している。建設途中の現場へ入る場合は現地での安全講習の受

講やヘルメット着用にて臨むようにしている。また、災害傷害保険・インターンシップ保険へ加入している。

小項目 3-3-7

防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)を整備・点検しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

法規で定められた定期的な設備点検を実施し、改善指摘分を改善している。警備システムも適切に運用されている。

小項目 3-3-8

学生が就職に関する情報を収集したり、専門職員が就職支援を行う指定された場所があり、活用しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

キャリアサポートセンターを設置し、求人情報の獲得や支援が行える場を設けている。専任のキャリアカウンセラーを配置しサポートを行っている。

小項目 3-3-9

図書室・図書コーナーがあり、教員や学生が利用できる関連図書等を備えて活用しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

グループ校共有の図書館を設置し、各専門分野の図書を備え運用している。

基準 4 教育目標の達成度

基準 4 総括

事業計画書によって全員に目標を共有し共通認識として指導に臨んでいる。モニタリングシートなどを活用し定期的に目標達成のための検証をしている。

見つかった課題

学生数増加に伴う多様性への対応が必要となっており、退学を防止し卒業率の向上に努める必要がある。

改善策又は改善の方向性

多様な学生への対応が図れるようなサポート指導と教育力の向上を図っていく。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

事業計画に目標が明記されており、毎月の報告書等で経過や結果の検証がなされている。

教育の達成度・結果を会議やミーティングで情報交換を行い、次年度にフィードバックしている。また、資格試験合格や内定者は実数が明記された正確な情報を公表しており適正である。

中項目 4-1

各学科の教育目的に向けた達成度および成果を評価・公表しているか。

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括

すべての教員が目標を意識し、資格取得・コンペ入選・授業成績等の達成できるように取り組んでいる。

小項目 4-1-1

デュプロマ・ポリシー(卒業認定の基本方針)として、どのような力を身に付けた者に卒業を認定するか基本的な方針を定めているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学則、学生便覧(学生のための学校ガイドブック)に記載され学生への周知がなされている。また、進級・卒業判定要項を定め、方針に対する判定を行っている。

小項目 4-1-2

教科の評価・成績に関して目標を設定し共有しているか。また適切な評価を行ない、結果について記録し、検証・報告したか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

目標は事業計画により共通認識のうえ各担当者において分担した個別目標として設定している。結果の記録は成績表(紙)による記録と、学校のシステム(データベース)に登録して管理し、法令の定める保管期間の保管を行っている。

小項目 4-1-3

いわゆる「養成校」の国家資格試験および公務員試験の合格率・合格者数等の目標を設定・共有し、結果を検証し改善等しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

担当者間で合格目標を共有し月次の進捗をモニタリングシートにより全体にも共有を図っている。結果についてもパンフレット・学校 Web サイトを通じて公表している。

小項目 4-1-4

資格・検定・コンペに関して目標を設定・共有し、結果について検証・報告・公表したか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

事業計画書によって検定・認定試験・コンペ実績に関する目標を共有し、共通認識として指導に臨んでいる。指導の状況や結果は月次のモニタリングシートにより共有し検証・報告・公表している。

小項目 4-1-5

学生の就職に関して目標を設定し共有しているか。また就職活動を記録して、それをもとに結果の検証・報告・公表したか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

事業計画書によって目標を共有し共通認識として指導に臨んでいる。指導の状況や結果は月次のモニタリングシートにより共有し把握している。

小項目 4-1-6

卒業率のアップに関して目標を設定・共有し、退学を防止する活動に関して検証し、退学者数を公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

事業計画書によって目標を共有し共通認識として指導に臨んでいる。学生対し行ったガイダンスには記録表を作成し情報を共有できる環境を整えている。実際に退学となった人数等も学校 Web サイトにて情報を公表している。

基準 5 学生支援

基準 5 総 括

学校生活の様々な場面を想定した支援体制を設け、支援できる体制を整えている。

担任制度による精度の高い学生状況の把握に努め、状況により保護者や関係部署との連携を図り協調体制で支援を行っている。また、充実した学校生活のために課外活動の人的・財政的支援を行い、卒業後も校友会による再就職支援や同窓会組織としての支援を継続している。

見つかった課題

特になし

改善策又は改善の方向性

特になし

■学校関係者評価結果：適 正

学校関係者評価 評価者のご意見

入学説明会や就職説明会など保護者との情報交換の場があり安心できる。

部活動・サークル活動・ゼミの支援がなされており、全国的な成果も出すことができている。

学生に対し、学習面、学生生活、就職活動で手厚いフォローアップがなされている。また、卒業生に対しても再就職を支援する制度があるのは素晴らしいと思う。

入学前から卒業後までのバックアップ体制がとられており適正である。

中項目 5-1

学生支援体制を整備し、支援を組織的に行なっているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：S

■中項目総括

国際交流センター・キャリアサポートセンターをはじめ関係部署との連携を図りながら担任以外にも支援体制を整備し、各場面に応じたサポートを行っている。

小項目 5-1-1

教員による学生の面談を定期的に行ない、適切な支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

ガイダンスマニュアルに沿って面談を実施している。内容は記録表に記載し指導者間で共有が図れるようにしている。学生がスムーズな学校生活を行なえるようフォローしている。担任は面談記録を作成し、管理者が閲覧し、指導できる状況にしている。

小項目 5-1-2

保護者と計画的な相談や面談を行ない、説明責任を果たしているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

入学前説明会において保護者に対する説明・相談の場を設けている。また、マニュアルのガイドラインに沿って必要に応じ適宜三者面談を実施し説明責任をはたしている。状況に応じ担任外の担当・副主任・主任・校長代行の同席を行い、記録を残すようにしている。また、学校情報や学生の情報に関して情報共有し、学習状況や学校生活について保護者の理解ができている。

小項目 5-1-3

キャリアサポート関連の有資格者(キャリアカウンセラー等)を配置し、学生の就職指導を行なっているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

有資格者(キャリアカウンセラー)がおり、必要に応じた進路相談指導が来ている。

小項目 5-1-4

スクールカウンセラーを配置し、教員以外に相談できる体制を整えているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

スクールカウンセラーを配置し、担任以外に学生が必要とするときに相談できる体制が出来ている。学生へは学生便覧(学生のための学校ガイドブック)・教室掲示を通じ相談窓口への方法を提示している。

小項目 5-1-5

ハラスメント防止に関する相談窓口を設置し、学生に周知し、有効に活用しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

学生便覧(学生のための学校ガイドブック)に相談窓口への方法を記載し、担任より周知を図っている。また、ハラスメント委員会が組織され担当の委員が研修に参加している。

小項目 5-1-6

奨学金制度等の経済的支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

日本学生支援機構の奨学金制度や各自治体の奨学生制度を案内している。また、学校独自の学費減免制度がある。また学外の奨学金制度が利用できる体制が出来ている。いずれも学生に周知し、活発に利用されている。

小項目 5-1-7

留学生、社会人学生、障がい者等を受け入れて、支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

留学生を担当する担任と国際交流センター間で連携を図り、生活面のサポートを行っている。また、就職支援グループとの連携により留学生・社会人学生・障がいを持つ学生の就職活動の支援を行っている。受給資格を満たす学生には教育給付金制度の活用を支援している。

小項目 5-1-8

課外活動に対する支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

スポーツ系クラブ活動だけでなく、ものづくり部・写真部・建築サークル等を組織し、人的・財政的支援を行っている。

中項目 5-2

卒業生等に対する支援を行なっているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：A

■中項目総括

Web サイトに卒業生に向けた校友会のページを設け、再就職斡旋・キャリアアップ講座の申込みがインターネット上からできるように整備している。

小項目 5-2-9

卒業生の就業先へ定期的な訪問をし、〇年後(任意)の在籍状況を把握しているか。また、キャリア教育の成果を把握して、学校の教育活動に活用しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

卒業生の就職先に対し、就業 1 年、2 年、3 年経過後の在籍状況のアンケートを実施している。また、就職担当者は企業訪問をした際に、キャリア教育の成果を担当者よりヒアリングし就業状況を把握して、学校の教育活動にフィードバックし活用している。

小項目 5-2-10

卒業生に対して職業紹介や講習・研修を行なう体制があり周知され、効果を上げているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

Web サイトに卒業生に向けた校友会のページを設け、再就職斡旋・キャリアアップ講座の申込みがインターネット上からできるように整備している。

基準 6 学生募集・受け入れ

基準 6 総括

募集要項をはじめとする媒体にアドミッションポリシーを明示し、求める資質・意欲に沿った学生を募集している。オープンキャンパスをはじめとする募集活動での説明を踏まえ、業界に貢献できる人材と入学を検討する学生とのミスマッチの抑制に努めている。また、広報グループ・学生支援グループ・法人本部等、各組織と連携を図り入学への体制を整えている。

見つかった課題

特になし

改善策又は改善の方向性

特になし

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

オープンキャンパスで学校や学科の説明、体験授業などを通して理解することができる。また、入学後のミスマッチを防ぐための個別の相談会等もあり、学科選択に役立つ。

中項目 6-1

学生募集活動を適正に行ない、入学選考を公正かつ適切に実施しているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：S

■中項目総括

学生募集は適正に行い、入学選考は公正・適切に実施している。

小項目 6-1-1

アドミッションポリシー(学生の受け入れ方針)を定め文書化し、入学希望者に求める資質、意欲、適性等を明示しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

募集要項、学校 Web サイトに明示すると共に、オープンキャンパスにて説明をしている。学校の理念を明文化し、入学者に求める資質・意欲を示している。

小項目 6-1-2

高等学校を定期的に訪問し、高校生の進路ニーズを把握し、学生募集活動に反映させているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

営業担当者 15名、各県専属営業担当6名により、定期的な高校訪問を実施。進路ニーズの把握及び提案を行っている。

小項目 6-1-3

学生募集活動において、就職実績、国家試験結果、卒業生の活躍等の教育成果を、正確に伝えているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

パンフレット・学校 Web サイトに就職実績・検定試験・資格試験の結果・卒業生の情報など、実績に基づいた数値を示している。

小項目 6-1-4

学校案内等には育成人材像、目指す国家資格・就職先、修得できる知識及び技術等を明示しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

学校案内等に学科の目的、育成人材像、めざす国家資格・就職先、修得できる知識や技術を入学希望者にわかりやすく明示している。内容は教職員で共有している。また、パンフレット・学校 Web サイト、学生便覧(学生のための学校ガイドブック)に学科毎の育成人材像、目指す資格・修得できる知識やスキル等を明示している。

小項目 6-1-5

募集要項等には学費・教材費等をわかりやすく明示し、金額は妥当なものになっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

募集要項に学費・教材費等を明確に示している。金額は経営推進部署との協議を行い、他校に比較しても大きな差異のない妥当性のある金額にしている。

小項目 6-1-6

募集要項等には入学者の選抜方法を明示し、選考を公正かつ適切に実施し、毎年検証を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

選抜方法は募集要項に明示している。入学選考はマニュアルに沿って公正かつ適切に実施されている。

小項目 6-1-7

適切な募集定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

募集要項に示される設定に沿って適切に入学者を受け入れ、在籍者管理を月次の管理シートにより把握している。定期的に教育環境・業界ニーズに対応した学科定員の再検討を行い、関係法令に応じ適性に管理・運営を行っている。

=====

基準 7 社会的活動

=====

基準 7 総括

関係業界である企業・地域・関係団体と連携を図りながら社会貢献活動を行っている。将来業界を担う人材への職業理解を促進し、これからの社会の担い手への理解を進めている。例年実施しているお仕事スタジアムへも多くの高校生などが参加し、地域貢献・社会貢献活動の一端となっている。

見つかった課題

特になし

改善策又は改善の方向性

地域貢献を目的とした公開講座の検討を進める。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

グループで行っているお仕事スタジアムは多くの高校生などが参加し、職業理解に役立っている。
福岡デザインリーグ、建築士会(地域まちづくり協議会)、多くの企業などと教育連携し地域に貢献している。
地域清掃や各種イベントを積極的に行っており適正である。

中項目 7-1

計画的・組織的に社会的活動への取り組みを推進しているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括

企業・行政・地域・関係団体と連携を図りながら社会貢献活動を行っている。

小項目 7-1-1

学生に対し、計画に基づく社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を推進し実施しているか。(制度上の問題がなければ単位認定)

■自己点検・評価結果： A

■コメント

地場の建設会社と連携し建物の改修や地域の建物調査の活動を通じて学生にボランティアを推進している。校務分掌にてボランティア委員会を設置し推進している。

小項目 7-1-2

学校は教育資源を生かした地域住民参加の公開講座などを実施しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

建築士連絡協議会と連携した公開講座を実施した。また、現役高校生を対象としたフォローアップ講座や高校での出張授業を実施している。

小項目 7-1-3

企業・地域・行政等の組織と連携を図り、地域社会に貢献しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

九州竹和会、建築士会(地域まちづくり協議会)、福岡県警(広報課)など、企業や地域・行政などと連携し、地域に貢献している。

基準 8 管理運営・財務（学校・グループ）

基準 8 総括

学校の管理・運営体制は関連部署との連携により組織的に運営されており、各種規定・マニュアルを整備し適切な運営体制を整えている。また、人的・財政的計画を策定し適切な予算の執行・管理を運用できている。

見つかった課題

特になし

改善策又は改善の方向性

多様なリスクに対応できる危機管理体制のマニュアルの随時見直し更新を図る。

■学校関係者評価結果： 適 正

学校関係者評価 評価者のご意見

各種規定・マニュアルを整備し適切な運営がなされている。また、ルールにもとづき自己点検、内部監査、第三者による監査などが実施されており適正である。

中項目 8-1

学校の管理・運営体制を確立して、規程通りに運営しているか

■学校関係者評価結果： 適 合

■自己点検・評価結果： S

■中項目総括

教育推進部署等関係する部門との連携を図り、管理・運営を行っている。また、学校組織として危機管理体制を整備している。

小項目 8-1-1

各学校、各グループで運営会議(教務会議・グループ会議等)を定期的に行い、進捗・課題・成果を共有しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

各学校、各グループで運営会議(教務会議・グループ会議等)を定期的に行い、進捗・課題・成果を共有しているか。

小項目 8-1-2

各学校および各グループの構成員全員の職務分掌(業務の内容および責任・権限)を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

毎年度、校務分掌(行事・検定・授業などの業務上の役割分担表)を作成し、全教職員に周知している。

小項目 8-1-3

防災・防犯対策、非常時対策を文書化し組織化しているか。また、避難訓練等を定期的に行っているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

防災・防犯対策に関するマニュアル(危機管理(基本)、不審者対応、火災対応、地震対応、消防計画)を作成し、教務室内に常時備え置いている。教職員向けの避難訓練を定期的に行っており、マニュアルもその都度配布している。教職員向け防災マニュアルと学生向け避難訓練マニュアルは年度初めに更新している。

小項目 8-1-4

個人情報保護規程を教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

個人情報に関する規程に関する文書は全職員に配布しており、それに基づいて活動している。

小項目 8-1-5

ハラスメント防止に関する規程を学校構成員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

ハラスメント防止規定に関する文書は全職員に配布され、防止のためのガイドラインも規定されている。

小項目 8-1-6

事務職員の意欲・資質の向上を図るために、研修計画を作成し、実施しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

研修計画を策定しており、必要な研修は責任者と相談のうえ実施(参加)している。

中項目 8-2

学校の財務体質は健全であり、財務運営は適切に行なっているか。

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果：A

■中項目総括

特になし

小項目 8-2-7

年度予算および中期計画を策定しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

中期ビジョンが定められ事業計画書への記載がある。ただし、中期(5年後)の収入・支出の現実的な根拠やそれに基づく予算の策定については精度の追求が必要。

小項目 8-2-8

予算は計画に従って妥当に執行し定期的に確認しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

部門長が予算管理表にて定期的に管理を行っている。

小項目 8-2-9

固定資産を適切に管理・運用しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

固定資産を適切に管理・運用しているか。

小項目 8-2-10

図書(固定資産)を適切に管理・運用しているか。(該当校)

■自己点検・評価結果：S

■コメント

図書管理規定・管理台帳が図書館司書にて一元管理されている。

基準 10 改革・改善・情報提供

基準 10 総括

自己点検評価委員会が中心となった活動をしており、活動の多くが部門長と委員によって活動している傾向にある。また、改善活動として、活動の意義や結果を学校構成員に周知し、共通の改善意識を持てるよう努めている。

見つかった課題

新たな課題は特になし。

改善策又は改善の方向性

学校構成員へ自己点検・評価活動の意義を周知する活動を継続していく。

■学校関係者評価結果：適 正

学校関係者評価 評価者のご意見

自己点検・評価活動の実施体制が確立されている。また、継続的な問題点の改善を通して評価も向上しており適正である。

中項目 10-1

自己点検・評価活動の実施体制を確立して、改革・改善のためのシステムが稼働しているか

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果：A

■中項目総括

自己点検委員を中心とした活動がなされている。今後さらに全体での理解促進を図りたい。

小項目 10-1-1

自己点検・評価の意義を全教職員に伝え、点検・評価活動の方法や評価基準を共有する機会を設けたか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

教務会議にて意義を周知した議事録、同内容を教職員へ通知しているメールを確認。

小項目 10-1-2

自己点検・評価を実施し、その結果に基づいて、改善計画を作成・実施し、結果の検証をしているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

定期的な自己点検の記録、および結果にもとづく改善計画書が策定され、フォローアップの記録がある。

小項目 10-1-3

自己点検・評価報告書は、公開に際して外部の方にわかりやすいような表現にしたり、必要な解説を加えたか。

■自己点検・評価結果: S

■コメント

公開を前提としたわかりやすい表現に配慮した文章での記述で報告書を作成している。

中項目 10-2

公的な教育機関として、教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を積極的に提供しているか。

■学校関係者評価結果: 適合■自己点検・評価結果: A

■中項目総括

法令およびガイドラインに下書き情報の提供を行っている。

小項目 10-2-6

法令およびガイドラインに従い積極的に情報提供の取り組みを行なっているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

麻生塾職員ルールブックへの記載、定例の教務会議での周知を議事録で確認。社会への説明責任について共有している。

小項目 10-2-7

提供している情報はガイドラインに示された項目に沿ったものであるか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

学校関係者評価の議事録を管理している。

小項目 10-2-8

情報提供は対象者に合わせて情報の内容や提供手段を工夫し、わかりやすく効果的であるか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

学校 Web サイトに掲載をし、通じ広く関係者への情報提供を行っている。